

# 今月の職員オススメ本



「ミス・サンシャイン」 吉田 修一／著 文藝春秋

『ここにはね、腫中（だんちゅう）ってツボがあるの。さみしくってどうしようもないときは、こうやってここを押さえるの』  
大学院生の一心は、教授の薦めから往年の大女優である和楽京子こと石田鈴の荷物整理のアルバイトを請け負う。同級生とのやるせない恋に振り回されていた一心は、ある日鈴に悩みを打ち明ける。また鈴も、早世した幼なじみの存在を心に秘めており……。年齢差を超えて思いやりあう2人の心を描いた一冊です。



「空にピース」 藤岡 陽子／著 幻冬舎

澤木ひかりは公立小学校の教師になって五年目。赴任先の小学校で自身初めての高学年、六年二組の担任になるのだが……初日から衝撃を受けていた。  
六年生にもなって授業中に席を離れる児童、日本語が通じない外国籍の児童、不登校気味で給食だけ食べに来る児童など問題山積。持ち上がりの前任教師は鬱で休職中のため引き継ぎもされていない。ひかりは、持ち前の行動力と真摯さで児童ひとりひとりに寄り添い、向き合うのであった。  
幸せを願い、愛情深く児童に関わるひかりの姿に心打たれる物語です。



「北斗星に乗って」 広小路 尚祈／著 桜山社

残業せずに帰ったある日、列車のホームに入ってきたのは「寝台特急・北斗星」。青く美しい列車に心奪われ、月に一度、金曜の夜に北斗星に乗り、日曜に東京に帰ってくる生活を一年ほど続けている。この旅で僕は、明後日には帰ってくるはずなのに生まれ育った東京を離れる寂しさや寝台特急だからこその新たな出会いを知った。その他、娘の結婚式に向かう美唄市の夫婦、東京で料理人として就職する青年、憧れの北斗星に新婚旅行で乗車する新婚さんなど北斗星がつなぐ八つの心温まる物語が描かれています。